

第2学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価						言語活動				
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語	評価規準					
4月		はっきりとした声で読もう	かくれんぼ	・はっきりとした声で、すらすらと声に出して読む。	8		○					○	○	【関】物語を楽しんで、声に出して読もうとしている。 【読】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 【言】音節と文字との関係や、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア		
			としょかんへいこう	・図書館の利用の仕方を知り、本を読む。	1		○						○		【関】図書館の利用の仕方を知り、本を読もうとしている。 【読】図書館の利用の仕方を知り、進んで本を選んで読んでいる。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア	
			「お話カード」を書こう	・読んだ本について、簡単な感想を書く。	4	17			○						○	【関】おもしろかったところや思ったことを伝えるために、分かりやすく書こうとしている。 【書】場面を正しく抜き書きしたり、気持ちを表す言葉、理由を表す言葉を適切に使ったりして、おもしろかったところや思ったことが読み手に伝わるように文章を書いている。	紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりする。B(2)エ
			かたかなで書くことば かん字のれんしゅう	・片仮名で書く言葉についてまとめ、正しく使う。	4				○						○	【関】片仮名表記の言葉に関心を持ち、集めたり書いたりしようとしている。 【言】片仮名表記の言葉にどのようなものがあるか知り、正しく表記している。	
			たんぼぼ	・順序に気をつけて読み取る。 《単元の評価規準》 【関】自分の経験や知っていること、興味・関心と結び付けて、説明の文章を読もうとしている。 【読】 ・何がどのような順序で述べられているかを正しく読んでいる。 ・一番興味をもったことについて、自分の興味や関心と関連付けて本から抜き出し、「たんぼぼのひみつカード」を書いている。	12			○								たんぼぼについて知っていることなどを積極的に書いたり伝えようとしていたりしている。 自分の生活や知識と関連させて教材文を読もうとしている。 関連した本に興味を持ち、「たんぼぼのひみつカード」を書くことに意欲をもって取り組もうとしている。 たんぼぼの部分や書かれている順番に着目して教材文の大体をつかんでいる。 時を表す言葉に着目して、花の開閉の変化を読み取っている。	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む。C(2)ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書く。B(2)ウ 興味をもったことや新しく知ったこと、考えたことを「たんぼぼのひみつカード」に書く。

5月

書いてあることを正しく読もう

「ひみつカード」を言っている。
【言】時間を表す言葉を理解して読んでいる。

25

				○	たんぼぼの花の仕組みについて読み取っている。		
	○				たんぼぼの花の仕組みのひみつを、実際のたんぼぼで興味をもって確かめようとしている。		
				○	実と種のでき方と茎との関係を読み取っている。		
				○	綿毛が開いて飛んでいく様子を、時間の経過に合わせて読み取っている。		
				○	まとめの段落を読み、全文を振り返って、たんぼぼの部分についての説明の順序を確かめている。		
				○	関連した本の中から、興味のある内容を選び、「たんぼぼのひみつカード」に書いている。		
				○	友達に伝えようという意欲をもって取り組み、友達が発見したひみつに興味をもって聞いている。		
ことばで絵をつたえよう	・大事なことを落とさずに順序よく説明する。	4	○	○	【関】絵の描き方を言葉で正しく伝えようとしている。 【話聞】説明の順序を考えながら、絵の形や位置、大きさなどを話している。	自分の描いた絵を相手に伝えるように順序よく説明する。☆	
よく見て書こう	・観察して、気づいたことをくわしく書く。	5	○	○	【関】興味をもって観察し、観察したことを記録しようとしている。 【書】観察したことを、横書きの形式で、様子を説明する言葉や表現を使って書いている。	観察したことを記録する文章などを書く。B(2)イ	
かん字の書き方に気をつけよう かん字のれんしゅう	・漢字の筆順と画数について理解する。	4	○		○	【関】漢字の筆順や画数に興味をもって、漢字の学習に取り組もうとしている。 【言】漢字の筆順と画数について理解している。	

1
学
期

6
月

ばめんに気
をつけて読もう

お手紙	・場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、お話を読む。 《単元の評価規準》 【関】人物の行動や会話に関心を持ち、楽しんで物語を読み、続きのお話を書こうとしている。 【読】場面について知り、登場人物の行動や会話を中心に出来事の順序に沿って想像を広げながら物語を読んでいる。 【言】文の中における主語と述語の関係に注意して読んでいる。	13	○					読み聞かせを楽しみ、「オリジナルの本」を作ることに意欲をもって取り組もうとしている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア 登場人物の行動や会話からその人物像を想像し、読み取ったことを生かしてお話の続きである「オリジナルの本」を作り、友だちに紹介する。
								挿絵をもとに物語を五つの場面に分け、内容の大体をつかんでいる。	
								悲しい気持ちで手紙を待つ二人の様子や気持ちを想像して読んでいる。	
								がまくんを喜ばせたい一心で行動するかえるくんの様子や気持ちを想像して読んでいる。	
								かたつむりくんを待つかえるくと、あきらめているがまくんの様子や気持ちを想像して読んでいる。	
								二人が幸せな気持ちになった様子や気持ちを想像して読んでいる。 一場面と四場面のがまくんとかえるくんの気持ちの変化を読み取っている。	
								お手紙が届き喜ぶがまくんと、それを見守るかえるくんの気持ちを想像して読んでいる。	
								【読】登場人物の性格を考えながら、想像をふくらませお話のつづきを書いている。	
								【言】主語と述語に注意して、お話を書いている。	
								書いた文章を友達と読み合い、推敲に役立っている。	
								自分や友達の作ったお話を想像を広げながら楽しんで読んでいる。	
まよい犬をさがせ	・必要なことを落とさないように聞いて、メモを取る。	3	○	○				【関】メモの大切さを知り、大事なことを落とさずに聞こうとしている。 【話聞】大事なことを落とさずに聞き、短い言葉でメモに取っている。	必要なことについて身近な人と連絡をし合う。A(2)ウ

		組みあわせたことばを使おう かん字のれんしゅう	・複合動詞の構成や意味を理解し、言葉への関心を深める。	4							○				○	【関】複合動詞に関心を持ち、使おうとしている。 【言】複合動詞の構成と意味を理解している。				
	せつめいの文をくらべて読もう	ふろしきは、どんなぬの	・二つの説明の文を比べて、違いを考える。 《単元の評価規準》 【関】説明の仕方の違いについて興味をもって、二つの文章を読もうとしている。 【読】 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読んでいる。 ・文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。 【言】言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。	12	29	○						○				単元のめあてをつかみ、二つの文章を比べて読もうとしている。	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む。C(2)ウ			
												○						比べる二つの文章はどれとどれかを理解している。		
													○	○					【読】語のまとまりに気を付けて音読しようとしている。 【言】場に応じた説明の仕方の違いについて、視写をしながら気付いている。	
														○	○				二つの文章を比べて読み、同じことが書かれている事を読み取っている。	
															○				二つの文章の違いを読み取り、場面や用途による文章構成や表現の違いに気付いている。	
																○				「新がたホッチキス」など、教材と同じように説明の仕方の違う説明の文を、目的に応じて書きかえている。
											○							○		
		できるようになったよ	・順序に気をつけて文章を書く。	10							○			○	【関】できるようになったことを思い出し、文章に書いて伝えようとしている。 【書】事柄の順序に気を付けて文章を書き、間違いを直している。 【言】句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して文の中で使っている。	できるようになったことをメモにまとめたり、文章に書いたりする。☆				
7月		なかまになることばをあつめよう	・仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分解したりする。	4							○				○	【関】仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めようとしている。 【言】言葉の類別や仲間になる言葉について理解している。				

		本は友だち	・読書の楽しさを理解し、自分の興味に合わせて本を選んで読む。	3		○			○	【関】読みたい本を探し、興味をもって本を読もうとしている。 【読】自分の興味に合わせて、読みたい本を選び、楽しんで本を読んでいる。	「二年生の本だな」や「きっとあるきみの心にひびく本」を参考に楽しんで本を読む。C(2)ア	
9月	しを読もう	いろいろなおとのあめ 空にぐうんと手をのばせ	・詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。	4	23	○			○	【関】詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しもうとしている。 【読】言葉の響きやリズムを楽しみながら、声に出して詩を読んでいる。	音の響きを楽しんだり、想像を広げたりしながら、詩を読む。☆	
		かんじたことを	・感じたことや思ったことを詩に書く。	2		○			○	【関】経験したことを思い出して、気づいたことや思ったことを詩に書こうとしている。 【書】気持ちや様子を短い言葉で表し、気づいたことや感じたことが伝わるように詩を書いている。	想像したことなどを文章に書く。B(2)ア	
		話したいな、とくいなこと	・聞く人に伝わるように順序よく話す。友達の話に興味をもって聞く。	7		○			○	○	【関】得意なことが友達に伝わるように話したり、友達の話に興味をもって聞いたりしようとしている。 【話聞】姿勢や口形、声の大きさや速さに注意して、丁寧な言葉でスピーチをしている。話を集中して聞き、感想を述べたり質問をしたりしている。 【言】言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。	経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりする。A(2)ア
		「ありがとう」をつたえよう	・伝えたいことを簡単な手紙に書く。	4		○				○	【関】相手を決め、感謝の気持ちを伝える手紙を書こうとしている。 【書】相手のことを考え、気持ちや伝えたいことが伝わるように気をつけて手紙を書いている。	伝えたいことを簡単な手紙に書く。B(2)オ
		言いつたえられているお話をしよう	・神話や伝承を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友達に発表し合おう。	6		○				○	○	【関】お話の好きなところを進んで発表しようとしている。 【読】読んだお話の好きなところを紹介している。 【言】神話や伝承を聞いたり読んだりして親しみ、おもしろかったところを友達に発表している。
		名前を見てちょうだい	・場面に気をつけて、人物の様子や気持ちを読み取る。 《単元の評価規準》 【関】表現や展開の特徴に気が付ながら、お話を	15		○				単元のめあてを理解し、お話のおもしろさを想像している。 人物の様子や気持ちを読み取ることに関心をもち、物語を楽しんで読もうとしている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア 物語を演じる。C(2)イ	

10月

人物のよう
すや気持ち
に気をつけ
て読もう

に笑いながら、お話を
楽しんで読もうとしてい
る。
【読】表現や展開の特徴
を観点にして読み、出来
事の順序をとらえて場面
の様子を想像している。
【言】文の中における主
語と述語の関係に注意し
ている。

27

						【読】場所と時間に注意しながら場面分けをし、内容の大体をつかんでいる。 【言】主語や述語に着目し、大事な言葉や文を書き抜いて読み取っている。
					○	○
					○	帽子をもらった時や、帽子が風にさらわれた時のえっちゃんの様子や気持ちを読み取っている。
					○	えっちゃんときつねの様子を対比して読み取り、えっちゃんのことを想像している。
					○	えっちゃんと牛の様子を対比して読み取り、えっちゃんのことを想像している。
					○	えっちゃんたちと大男の様子を対比して読み取り、えっちゃんのことを想像している。
					○	大男に立ち向かうえっちゃんの様子を読み取り、気持ちを想像している。
					○	帽子がもどってきた時のえっちゃんの様子をとらえ、気持ちを想像している。
					○	語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。
					○	・読み取ったことを生かしながら、発声や語のまとまりに気を付けて音読している。 ・友達の発表の良いところを見付けて伝えている。
○						自分の伸びを具体的に自覚し、これからの学習や生活に生かそうとしている。

2学期

	絵を見てお話を作ろう	・絵から想像を広げて、お話を書く。	8							【関】3枚の絵から場面を想像して、お話を作ろうとしている。 【書】それぞれの場面について想像を広げ、登場人物の行動や会話ができるようにお話を書いている。	想像したことなどを文章に書く。B(2)ア	
	声に出してみよう かん字のれんしゅう	・音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解する。	4							【関】音節と文字との関係やアクセントによる言葉の違いに興味をもって言葉を集めたり分類したりしようとしている。 【言】音節と文字との関係やアクセントによる言葉の違いを理解して言葉を分類している。		
どうぶつのひみつをみんなでさがろう	ビーバーの大工事	・大事な言葉を探しながら、順序に気をつけて読み取る。	18	25						動物の生活について書かれている内容に興味をもち、進んで学習に取り組もうとしている。	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む。C(2)ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書く。B(2)ウ 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりする。B(2)エ 書かれている内容を正しく読み取り、それを根拠に「ビーバーのひみつクイズ」を作ったり答えたりする。	
										○		述語に着目し、写真、挿絵と合わせながら文章のまとまりを考えて読んでいる。
										○		述語にそって、ビーバーが木をかじって倒す様子を読み取っている。
										○		述語にそって、ビーバーが倒した木を運んで泳いでいく様子を読み取っている。
										○		述語にそって、ビーバーがどのようにダムを作るのかを読み取っている。
										○		巣作りの様子や巣の仕組みを読み取り、安全な巣を作って暮らすビーバーの知恵を読み取っている。
										○		教材文を読んで思ったことや、もっと知りたいと思ったことなどをまとめて発表している。
										○		○

11月

								○	クイズの答えになる部分を教材文から見つけ出し、正しく読み取っている。	
								○	興味のある動物を選び、本で調べるとい う活動に意欲的に取り組もうとしている。	
								○	クイズを作る目的にあった本を選んで読 んでいる。	
								○	本に書かれていることを正しく読み取り、 クイズを作っている。	
								○	クイズの正解が書かれている本を探し出 し、答えの部分を正しく読み取っている。	
								○	「クイズ集」作りに意欲的に取り組み、学 習を振り返りながら、新しく知ったことや おもしろかったことなど、感想をもととし ている。	
	聞き合おう、みんなのたからもの	・一つの話題について、 知りたいことを尋ねて話 し合う。	7					○ ○	【関】宝物について話し合う活動に興味を もち、尋ねたり応答したりしようとしてい る。 【話聞】宝物について知りたいことを質問 したり、友達の話をよく聞いたりしながら、 話題に沿って話し合っている。	尋ねたり応答したりする。A(2)イ 知らせたいことなどについて身近 な人に紹介したり、それを聞いたり する。A(2)エ
じゅんじよを かんがえて せつ明しよう	二年一組、はつ 明じむしょ	・書くことを整理し、順序 を考えて書く。	13	17				○ ○ ○	【関】楽しんで発明品を考え、「しょうかい カード」を書いて友達に紹介しようとして いる。 【書】発明品のよさや使い方、工夫などが 伝わるように、言葉や順序に気をつけて 文章を書いている。 【言】句読点の打ち方やかぎの使い方を 理解して文の中で使っている。	身近な事物を簡単に説明する文章 などを書く。B(2)ウ

1 2 月	むかし話を 楽しんで読もう	主語とじゅつ語に 気をつけよう かん字のれんしゅう	・主語と述語の働きを理解し、主述のそろった正しい文を書けるようにする。	4	○					○	【関】主語と述語の働きについて知り、自分の書く文に生かそうとしている。 【言】主述のそろった文を書き、同じ事象を表す文でも、視点によって表現が異なることを理解している。	
		かさこじぞう	・おもしろさを見つけながら、いろいろな昔話を読む。 《単元の評価規準》 【関】昔話に興味をもち、いろいろな昔話を読み「読書郵便」で友だちに紹介しようとしている。 【読】 ・お話のおもしろさを紹介するために、人物の行動や会話に着目して、場面の様子を想像しながら読んでいる。 ・お話の好きなところについて、自分のこれまでの読書体験と結びつけながら「読書郵便」にまとめている。 ・自分で選んだ昔話を読んで、おもしろかった場面や心に残った場面について読書郵便で友だちに紹介している。	14	○						読み聞かせを楽しみ、「読書郵便」を書くことに興味をもって取り組もうとしている。 挿絵をもとに、物語を6つの場面に分け、物語の大体をとらえている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア 読んだ本について、好きなところを紹介する。C(2)オ 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりする。B(2)エ 伝えたいことを簡単な手紙に書く。B(2)オ
				26						○	【関】最も心動かされた場面とそのわけを考え、交流しようとしている。 【読】じいさまとばあさまが、なぜよいお正月をむかえることができたのか読み取っている。 【読】六つの場面を通して、じいさまのしたことや会話から、じいさまのやさしさを読み取っている。 【読】六つの場面を通して、ばあさまのしたことや会話から、ばあさまのやさしさを読み取っている。 【言】かさこじぞうの昔話独特のおもしろさを見つけている。	場面の様子や人物の気持ちを読み取る力を生かし、自分が選んだ昔話についておもしろかったところや心に残ったところを「読書郵便」にして友だちに紹介する。
										○	読書郵便の書き方について理解し、おもしろかったことや心に残ったところについて理由をつけながらまとめている。	
										○	・物語の四要素(時、場所、登場人物、出来事)をつかんでいる。 ・物語の四要素を意識してあらすじをまとめている。 ・おもしろいと思った理由を、人物の行動や会話に着目してまとめている。	

3 学 期	1 月								○	昔話のおもしろさを紹介し合い、紹介された本から興味をもって読みたい本を見つけている。					
		おばあちゃんに聞いたよ	・昔から伝わるいろいろな昔話を読む。	7					○	○	【関】昔から伝わるいろいろな言い方に興味をもち、楽しんで音読しようとしている。 【言】昔から伝わるいろいろな言い方について知り、リズムや調子のよさを体感している。				
		考えたわけを書こう かん字のれんしゅう	・考えたことと理由を文章に書く。	5					○	○	【関】考えたことに理由を合わせて説明する文章を書こうとしている。 【書】考えたことと理由がつながるように文章を書いている。	身近な事物を簡単に説明する文章などを書く。B(2)ウ			
	2 月	分 か り や す く せ つ 明 し よ う	「おもちゃまつり」へようこそ	・聞く人によく分かるように、順序よく説明する。	15	19				○	○	○	【関】おもちゃの作り方や遊び方が聞き手に伝わるように説明しようとしている。 【話聞】分かりやすい説明の順序を考えたり、相手の様子を見ながら、話す内容や話し方に気をつけて説明したりしている。 【言】言葉には、事物の内容を表す働きと、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	事物の説明をしたり、それらを聞いて感想を述べたりする。A(2)アグループで話し合っって考えを一つにまとめる。A(2)イ	
			おくりがなに気をつけよう かん字のれんしゅう	送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら正しく漢字の読み書きをする。	4						○		○	【関】漢字の読み方と送り仮名の関係に関心をもち、いろいろな漢字について調べようとしている。 【言】送り仮名の役割を理解し、言葉の意味に気をつけて漢字を正しく読んだり書き表したりしている。	
			虫は道具をもっている	・似ているところと違うところに気をつけて読む。	14						○		○	○	【関】虫の体を、人の作った道具と比較して考えようとしている。 【読】虫の体を「道具としてのはたらき」の視点から、比喩的に関連付けて読んでいる。 【言】文の中の主語と述語との関係に注意している。

月	虫について 知ったことを もとに考えよう	「思い出ブック」を作ろう	・これまでに書いた文章や詩を読み返し、1年間の思い出を文章や詩に書く。	8	26	○		○			【関】これまで書いた文章や詩を読み返し、「思い出ブック」を楽しんで作ろうとしている。 【書】心に残っていることが伝わるように、様子を詳しく書いたり、気持ちが表れる言葉を選んだりして文章を書いている。	心に残っていることが伝わるように様子や気持ちを詳しく書く。☆ 「思い出ブック」を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合う。☆
		はんたいのいみ のことば かん字のれんしゅう	・反対の意味を表す言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。	4		○			○		【関】反対の意味を表す言葉に興味をもって、身の回りから言葉を探そうとしている。 【言】言葉の意味を理解して反対の言葉を集めている。	
3月	お話を紙しばいにしよう	ニャーゴ	・場面に気をつけて、読み取った人物の様子や気持ちが伝わるように紙芝居をする。	17	17	○			○	○	【関】読み取ったことを紙芝居発表で表現しようとしている。 【読】場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読んでいる。 【言】文の中における主語と述語の関係に注意している。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア 物語を演じる。C(2)イ